



おわりに

授業を行った後で振り返ってみて、生徒の様子はいかがでしたか。効果的な授業実践を積み重ねていくことで、生徒は学習に対して意欲的になったり、以前はできなかったことが次第にできるようになったりします。生徒たちの成長を見ることは、教員としての喜びを感じる瞬間ではないでしょうか。自分が行う授業を通して、生徒がどのように成長してくれるのだろうと想像しながら授業づくりをすることは、教員にとっての楽しみです。

とはいえ、授業づくりはいつも順風満帆とは限りません。苦勞して授業の計画をしても、予定通りにいかないことはよくあります。そのようなときには、同じ教科や同じ学年の教員に相談してみてください。そこで得られる貴重な助言や情報を活用しながら、指導力を磨いていけば良いのです。自力で試行錯誤を重ねていくことも大切ですが、教員間でコミュニケーションをとり、チームとして取り組むことも、教員の成長にとって必要なことです。

皆さんの教員生活は、まだまだ始まったばかりです。教員は責任の重い仕事ですが、ここにはその責任に見合う大きなやりがいと、皆さん自身の成長の機会とがあります。より良い学びを目指して試行錯誤する皆さんの姿は、きっと生徒たちに刺激を与え、授業への前向きさを生むことでしょう。皆さんの成長が生徒の成長をより一層促すのです。

この冊子を手にした全ての皆さんの授業実践が充実したものとなるよう、心より願っています。